

50585

教科書文庫

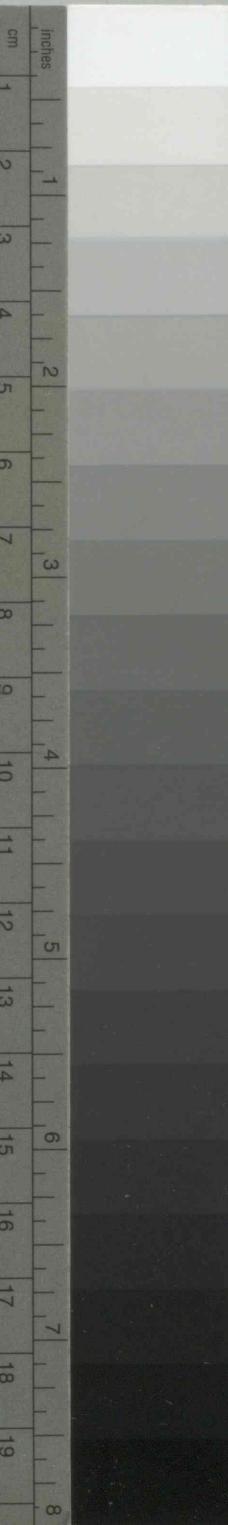
5
810
33-1946
D1304 49850

Kodak Gray Scale

C Y M

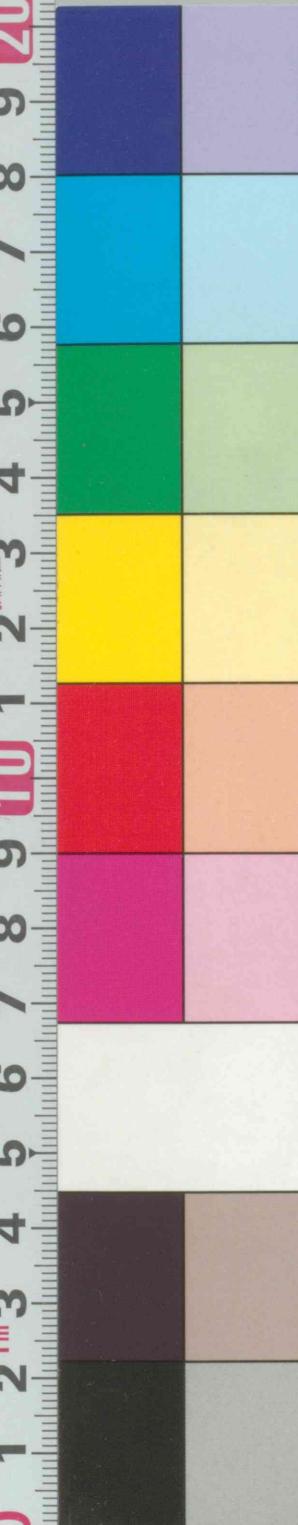
© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

**Kodak Color Control Patches**

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak, 2007 TM: Kodak



ニ カ タ ニ

シヨー

ア カ サ カ シ ラ ウ

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1m 2 JAPAN Tamura

中央図書館

教科書文庫

5

810

33-1946

0130449850

ヨ
ミ
カ
タ

二

一
ネ
ン
下

モ
ン
ブ
シ
ヤ
ウ

広島大学図書

0130449850



広島大学図書

0130449850



モクロク

- | | | | |
|----|-----|-----|----------|
| 一 | 山ノ上 | 十二 | ケンチャン |
| 二 | | 十三 | 冬 |
| 三 | | 十四 | お正月 |
| 四 | | 十五 | ネズミノヨメイリ |
| 五 | | 十六 | シャシン |
| 六 | | 十七 | カゲエ |
| 七 | | 十八 | 日本のしるし |
| 八 | | 十九 | 花サカヂヂイ |
| 九 | | 二十 | ユメ |
| 十 | | 二十一 | 机とこしきけ |
| 十一 | | 二十二 | ウグヒス |
| | | 二十三 | つくし |
| | | 二十四 | 汽車 |
| | | 二十一 | ヒロイヒロイ |
| | | 二十二 | 青イ、青イ |
| | | 二十三 | ダツタ。 |
| | | 二十四 | 小サイシラホガ |
| | | 二十一 | ニツ三ツ |
| | | 二十二 | 青イ海ニ |
| | | 二十三 | ウイテキタ。 |
| | | 二十四 | トホクノ方ニ |
| | | 二十五 | ウイテキタ。 |

一 山ノ上

- ムカフノ 山ニ
ノボツカラ、
山ノムカフハ
村(○)ダツタ。
タンボノツヅク
村ダツタ。

ヒロイヒロイ
青イ、青イ
海(○)ダツタ。

- 小サイシラホガ
ニツ三ツ
青イ海ニ
ウイテキタ。
トホクノ方ニ
ウイテキタ。

ヒルスギカラ、空ガ クモツテ來マシタ。

アシタハ ウンドウクワイ デス。勇サンハ、天キガシ
ンパイデタマリマセン 外ヘ 出テ、空バカリ 見テ キ
マス。

勇サンハ、カミデ テルテルバウズヲ、ツクリマシタ。ソ
レヲニハノ 木ノ枝ニ ツルシテ、

テルテルバウズ、

テルバウズ、

アシタ 天キニ

シテ オクレ。

ト ウタヒマシタ。

ケレドモ、空ハ、ダンダン クラク ナツテ來マシタ。ト
ウトウ雨ガ フリダシマシタ。テルテルバウズハ、ビショ
ユレニナツテ、ナイテ キマス。

少シ タツテカラ、勇サンハ、オカアサンニ イヒツカツ
テ、ハガキヲ 出シニ イキマシタ。

勇サンハ、「雨ガ フツテ ツマラナイナア。」ト イヒナガ
ラ、カサヲ サシテ 出カケマシタ。

少シ イクト、トケイヤノ 店カラ、ラジオガ キコエテ
來マシタ。

「コンヤハ 雨 デスガ アスハ ヨイ 天キニ ナリマス。」

勇サンハ ウレシクテ タマリマセン デシタ。

大イソギデハガキヲ 出シテ、ウチヘカヘリマシタ。

オカアサン、アシタハ オ天キ デス。ラジオガ サウ

イヒマシタヨ。」

トイヒマスト、オカアサンハ

「マア、ヨカツタネ。デハ オイシイ オベントウヲ コシ

ラヘテ アゲマスヨ。」

トイツシャイマシタ。

三 ウサギト カメ

ト イヒマスト、オカアサンハ

「マア、ヨカツタネ。デハ オイシイ オベントウヲ コシ

ラヘテ アゲマスヨ。」

トイツシャイマシタ。

カメ「ウサギサン、コンニチハ。」

カメ「ウサギサン、コンニチハ。」

ウサギ「ニカ、オモシロイ コトハ ナイカナ。」

カメ「ザウ ダネ。」

ウサギ「カケツコヲ シヨウカ。」

カメ「レハ オモシロイ。」

ウサギ「デモ、ボクノ カチニ キマツテ キルナ。」

カメ「ソンナコトハナイヨ。」

ウサギ「デハ、ヤラウ。ケツシヨウテンハ、アノ山ノ上ダヨ。」

カメ「山ノ上。イイトモ。」

ウサギ「ヨウイ、ドン。」

ウサギ「オソイ カメサン ダナ。アンナニ オクレテ シ
マツタ。コノヘンデ、ヒルネヲ シヨウ。グウ グウ
グウ。」

カメ「オヤ オヤ、ウサギサン、ヒルネヲ シテ キルゾ。
イマノウチニ オヒコサウ。急ヶ 急ヶ。」

ウサギ「ア、イイ キモチ ダツタ。マダ、カメサンハ ココ
マデ 来ナイ ダラウ。ドレ、出力ケヨウカナ。オヤ、
山ノ 上ニ ダレカ キルゾ。」

カメ「ウサギサン。」
ウサギ「ヤア、カメサン ダシマツタ、シマツタ。」

四 西ハタヤケ

勇サンハ、ホクカイダウノ ヲヂサンカラ、本ヲ オクツ
テ イタダキマシタ。ホクカイダウノ 子ドモタチノ ヨ
ム 本 デシタ。

一パン ハジメニ、ホクカイダウノ 空ノ ウツクシイコ
トガ、カイテ アリマシタ。

ヨンデイクウチニ、ツギノヤウナウタガ アリマシタ。

西ハタヤケ 赤イ クモ、

東ハマルイ オ月サマ。
ドツチヲ 見テモ ヒロイナア。

ヒロビロト シタ ホクカイダウヘ、勇サンハイツテ 見
タクナリマシタ。

勇サンハ 外へ出テ、ムネヲ ハリナガラ、イキヲ イツバイ
スヒコニマシタ。サウシテ、大キナコエデ ウタヒマシタ。

西ハタヤケ 赤イクモ、

東ハマルイ オ月サマ、

ドツチヲ 見テモ ヒロイナア。

五 カマキリヂイサン

トホイ タンボヘ
急ギマス。

キレイニハレタ

秋ノ 日ニ、

トホイ タンボヘ

急ギマス。

カマキリヂイサン

イネカリニ、

カマラ カツイデ

アゼミチヲ、

六 サルト カニ

サルガ 柿ノタネヲ ヒロヒマシタ。

カニガ、ニギリメシヲ ヒロヒマシタ。

サルハ、カニニ イツテ 柿ノタネト トリカヘツコヲ

シマシタ。

サルハ、ニギリメシヲ オイシサウニ タベマシタ。
カニハ、柿ノ タネヲ ニハニ マキマシタ。

早ク

メヲ

出セ、柿ノ タネ。

メガ 出マシタ。

早ク 木ニ ナレ、柿ノ タネ。

早ク 木ニ ナレ、柿ノ タネ。

木ニ ナリマシタ。

早ク ミガ ナレ、柿ノ タネ。

早ク ミガ ナレ、柿ノ タネ。

大キナ 柿ガ タクサンナリマシタ。

サルガ アソビニ 来マシタ。

ボクガ トツテ アゲヨウ。

ト イツテ、木ニノボリマシタ。**長イ** 手ヲ ノバシテ、柿

ヲ イクツモ イクツモ トリマシタ。

サルハ、ジブンバカリ タベマシタ。シマヒニ、青イ 柿ヲ

カニニ ナゲヅケテ、イツテ シマヒマシタ。

カニハ 大ケガラ シマシタ。

ゾコヘ、ハチガ 来マシタ。

ウスガ 来マシタ。

栗ガ 来マシタ。

ミンナデ、サルヲ コラス コトニ シマシタ。
 サルヲ ヨビニ ヤリマシタ。サルガ カニノ ウチヘ
 来テ、ヒバチノ **(前ニ)** スワリマシタ。

灰ノ 中ニ カクレテ キタ 栗ガ サルニ ポント ト
 ビツキマシタ。サルハ **アツイ、アツイ。** ト イツテ、水ヲ
 カケニ イキマシタ。

水ガメノ 中ニ カクレテ キタハチガ、サルノ カホヲ
 チクリト サシマシタ。サルハ **イタイ、イタイ。** ト ナイ
 テ、戸グチノ 方ヘ ニゲマシタ。ウスガ 上カラ ドシン
 ト オチテ 来マシタ。

ソコヘ、カニガ 来マシタ。栗モ 来マシタ。ハチモ 来マ

シタ。サルハ ジブンガ ワルカツタト アヤマリマシタ。

七 オチバ

キヌ子サント 花子サンガ、オチバヲ ヒロヒニ、**(林ノ)**
 中ヘ **(行)**キマシタ。

キイロナハヤ、マツカナハガ タクサン オチテ キマス。
 アルクト、カサカサ **(音ガ)** シマス。

キヌ子サンガ、キイロナ ハ ヲ 一マイ ヒロツテ、日ニ
 スカシナガラ、
ハノスヂガ キレイニ 見エマスヨ。
 ト イヒマシタ。

花子サンガ、モミヂノハヲ ヒロツテ、
「コレヲ オシバニ シマセウ」。

ト イヒマシタ。

小トリガ、チチ チチト ナイテ キマス。

ハ イモヤキ

ケフハ、ハタケノ カタヅケヲ シヨウ。

ト、オトウサンガ オツシャイマシタノデ、オカアサンモ、
ボクモ、弟モ、ハタケニ 出マシタ。

ミンナデ、アチラ コチラニ オチテ キル 木ノ 枝ヤ、
カレ草ナドヲ、ヒトトコロニ アツメマシタ。ソレニ、オ

トウサンガ 火ヲ オツケニ ナリマシタ。ケレドモ、スグ
消エマシタ。オカアサンガ、カンナクヅヲ モツテ オイデ
ニナリマシタ。コンドハ ヨク モエマシタ。ミンナデ、カ
レ枝ヤ オチバラ カブセルト、パチパチト モエアガリ
マシタ。

弟ハ、

「エンマクダ、エンマクダ。」

トイツテ、ヨロコビマシタ。

オカアサンガ、大キナ オイモヲ ニツ モツテ 来テ、灰
ノ 中へオ入レニ ナリマシタ。

早ク ヤケナイカナ。」

ト、弟ガ イヒマシタ。ボクハ、

ゾンナニ早クハ ヤケナイヨ。

トイツテ、弟ト、オトナリノ ウサギノ 子ヲ 見ニ 行

キマシタ。ウサギノ 子ハ 五ヒキ 犁テ、ヒトカタマリニ

ナツテ キマシタ。

オイモノコトヲ オモヒ出シテ、マタ ハタケヘ 行キマ

シタ。オイモノニホヒガ、オイシサウニ シテ キマシタ。

オトウサンガ

ドレ、ドレ。

ト、灰ノ中ヲ サガシテ、

ヤケタ、ヤケタ。

ト オツシャイマシタ。

ワタクシタチハ、オイシク タベマシタ。

ドコヘ 行ツタ。

アノ 山 コエテ、

里（印）ヘ 行ツタ。

オコロリヨ。

里ノ ミヤゲニ、

ナニ モラツタ。

デンデンダイコニ、

シャウノ フエ。

バウヤハ ヨイ 子ダ

ネンネンコロリヨ。

バウヤノ オモリハ、

十 オイシャサマ

花子サンハ、人ギヤウガ **病氣ニ** ナツタノデ、オイシャサ
マヲ ヨビマシタ。

オイシャサマハ **正男**サン デス。オトナノ バウシヲ
カブツテ 大キナ カバンヲ モツテハイツテ來マシタ。
ゴ病人ハドチラ デスカ。

アチラニ ネテ ヲリマス。』

花子サンハ、正男サンヲ オクヘ トホシマシタ。
正男サンハ、人ギヤウノ ソバニ スワリマシタ。
正男サンハ、人ギヤウノ 手ヲ トリマシタ。ヒタヒニ サ

ハツテ ミマシタ。オナカラ オサヘテ ミマシタ。

正男サンガ、アンマリ ジヤウズニ、オイシャサマノ マネ、
ヲスルノデ、花子サンハ、急ニ ラカシク ナリマシタ。
デモ、**笑**ハナイデ、ジット ガマンシテ キマシタ。

正男サンハ、ティネイニ ミテカラ、

ダイシテワルクハナイヤウ デスタベスギ デスネ。
ト、マジメナ カホラ シテ イヒマシタ。

花子サンハ、トウトウ 笑ヒダシマシタ。正男サンモ 笑、
ヒダシマシタ。

十一 デンシャゴツコ

ウンテンシユハ ジヤウ、

ウンテンシユハ キミダ。

ズ。

シャシヤウハ ボクダ。

デンシャハ早イ。

アトノ 四人ガ

ツギハボクラノ

デンシャノ オ客

オオリハオ早ク、

ウゴキマスチニチニ

ウゴキマスチニチニ

十二 ケンチヤン

オカアサンガ キモノヲ ヌツテ イラツシャイマシタ。ケ

ンチヤンガソバヘ行ツテ、ハリバコニ サハツタリ。キレ
ヲヒツパツタリシマシタ。

オカアサンガ

「ギヌ子サンチヨツト ケンチヤンヲ ツレテワンワン」

ヲ見ニ行ツテ チヤウダイ。

ト オツシャイマシタ。

私ハ、ケンチヤンヲ ツレテ外ヘ 出マシタ。

私ハ、オトナリノ 前ヘ 行ツテ

「シロ、シロ。」

ト 呼ビ マシタガシロハキマセン デシタ。

ツトムサンノ ウチノ 前ニ 馬ガ キマシタ。

ケンチヤンガ、

「オンマ オンマ。」

ト イヒマシタ。

馬ハ、ヲケノ 中へ カホヲ 入レテ カヒバヲ タベテ

ヰマシタ。

タベナガラ、トキドキ、シツボヲ フツテ キマシタ。

ケンチヤンハ、ニコニコシテ 見テ キマシタ。

十三 冬

(一)

ケサハジメテ 池ノ 水ガコホリマシタ。

妹ガ、

「キンギヨヤコヒハ、ドウシテキル デセウネ。」

ト シンバイサウニイヒマシタ。私ガ、

「ドコカニ カクレテ キルノ ダラウ。」

トイヒマスト、妹ハ、

「氷ガハツテ、サカナタチハサムイ デセウネ。」

トイヒマシタ。

(二)

雪ヤ コンコ、

アラレヤ コンコ、

竹ノハニツモレ、
松ノ木ニツモレ、
ドンドンツモレ。

妹ハウタヒナガラ、前カケヲヒロゲテ、フツテ來ル
雪ヲウケテキマス。

雪ハ、アトカラアトカラフツテ來マス。
ナカヨクナランデ、フツテ來ルノモアリマス。
オツカケツコヲシナガラ、フツテ來ルノモアリマス。
トンボガヘリヲシナガラ、フツテ來ルノモアリマス。

(三)

ニイサンント二人デ、雪ダルマヲツクリマシタ。
ハジメニ、雪ノタマヲコシラヘテ、ソレヲ二人デコロガシマシタ。スルト、ダンダン大キクナッテ、コロガスコトガデキナクナリマシタ。コンドハ、少シ小サイノヲコシラヘテ、大キイノニカサネマシタ。ソレカラ、炭デ目ト口ヲツケマシタ。
ヨルニナツテ、私ハニイサンニ、「雪ダルマヲ見テ來マセウ。」
トイツテ、二人デ外へ出マシタ。
月ガ光ツテキマシタ。雪ダルマハ、ドツカリスワツテキマシタ。

十四 お正月

里から 来い。

おもちつきつき

どんで 来い。

お正月 来い、
山から 来い、

山の うらじろ
持つて 来い。

お正月 来い、
海から 来い。

たからの お舟に

お正月 来い、

十五 ネズミノ ヨメイリ

ネズミノ 赤チャンガ 生マレシタ。ダンダン 大キク

ナツテ、ヨイ ムスメニ ナリマシタ。
オトウサンモ オカアサンモ、大ヨロコビデ、「ポンタウニ
ヨイ 子ダ。コンナ ヨイ 子ヲ、ネズミノ オヨメサンニ
スルノハ ラシイ。セカイ中デ 一バン エライ カタノ
オヨメサンニ シタイ」ト 思ヒマシタ。

オトウサント オカアサンハ、サウダンシテ、オ日サマノ
トコロヘ オヨメニ アゲル コトニ シマシタ。ネズミ
ノ、オトウサンハ、オ日サマノ トコロヘ 行ツテ。

「私ノウチニ、タイヘン ヨイ ムスメガ アリマス。セ
カイ中デ、一バン エライ カタノ トコロヘ、アゲタイ
ト 思ヒマス。一バン エライ カタハ アナタ デス。

ドウカ、私ノムスメヲモラツテクダサイ。

トタノミマシタ。

オ日サマハ、

アリガタイガオコトワリシマセウ。セカイ中ニハ私
ヨリモツトエライ人ガキマスカラ。

トオツシャイマシタ。

ネズミノオトウサンハビツクリシテ、

ゾレハダレデスカ。

トタヅネマシタ。

オ日サマハ、

ゾレハ雲サンデス。イクラ私ガテツテキテモ、雲

サンガ來ルト、カクサレテシマヒマス。雲サンニハ

カナヒマセン。

トオツシャイマシタ。

ネズミノオトウサンハ、雲ノトコロヘ行ツテ、

「セカイ中デ、一パンエライアナタニ、ムスメヲア」

ゲタイト思ヒマス。

トイヒマシタ。

雲モコトワリマシタ。

セカイ中ニハ、私ヨリモツトエライ人ガキマスカラ。
トイヒマシタ。

ネズミノオトウサンハビツクリシテ、

ゾレハダレ デスカ。
ト タヅネマシタ。

雲ハ、

ゾレハ 風サン デス。イクラ 私ガ 空デ イバツテ、ヰ
テモ、風サンガ 来ルト、吹キトバサレテ シマヒマス。
風サンニハ カナヒマセシ。

トイヒマシタ。

ネズミノ オトウサンハ、風ノ トコロヘ 行ツテ
「セカイ中デ、一パン エライ アナタニ、ムスメヲ
ゲタイト 思ヒマス。
トイヒマシタ。

風モ コトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリ モツト エライ 人ガ キマスカラ。」

トイヒマシタ。

ネズミノ オトウサンハ、

ゾレハ ダレ デスカ。

ト タヅネマシタ。

風ハ、

ゾレハ カベサン デス。イクラ 私ガ チカライツバ

イ吹イテモ、カベサンハ ヘイキデ キマス。カベサン

ニハ カナヒマセシ。

トイヒマシタ。

風ハ、

ゾレハ カベサン デス。イクラ 私ガ チカライツバ

イ吹イテモ、カベサンハ ヘイキデ キマス。カベサン

ニハ カナヒマセシ。

ネズミノ オトウサンハ、カベノ トコロヘ 行ツテ、
 「セカイ中デ、一バン エライ アナタニ、ムスメヲ ア
 ゲタイト 思ヒマス。」

ト イヒマシタ。

カベモコトワリマシタ。

「セカイ中ニハ、私ヨリ モツト エライ 人ガキマスカラ。
 ト イヒマシタ。」

ネズミノ オトウサンハ、

ゾレハ ダレ デスカ。」

ト タヅネマシタ

カベハ

ゾレハ ネズミサン デス。ネズミサンニ カリカリト

カジラレテハ、タマリマセン。」

ト イヒマシタ。

ネズミノオトウサンハ、ナルホド、セカイ中デ 一バンエ

ライノハ、ネズミダ。ト 思ヒマシタ。

ネズミノ オトウサンハ、ムスマーラ、キンジョノ ネズミノ
 オヨメサンニ シマシタ。

十六 シャシン

ニイサン、オゲンキ デスカ。
 ケフ、ミシナデ シャシンヲ ウツシマシタ。デキタラ、ス

グ 送リマス。

マン中ニ、オディイサント オバアサンガ オカケニ ナリ、ソ
ノワキニ、オトウサント オカアサンガ オカケニ ナ
リ、ウシロニ、ネエサント 私ガ 立チ マシタ 私ハ、セイガ
ヒククテ カホガ出ナイノデ、ハコノ上ニ 立チ マシタ。

「ゴノ シヤシンヲ ニイサンガ 見タラ、ドンナニ ヨ
ロコブ コト デセウ。」

ト、オバアサンガ オツシヤイマシタ。

オトウサンガ

「シヤシンニ、コエモ ウツルト イイガナ。」

ト オツシヤルト、オディイサンガ

手ガミヲ ヤレバイイサ。ゲンキデ、シツカリ ハタラ

ケト、カイテ ヤラウ。」

ト オツシヤイマシタ。

私ハ、マイアサ、ニイサンノ シヤシンニ、「オ早ウ」ヲ イヒマス。

十七 カゲエ

「デサシ、コンヤモ マタ、カゲエヲ シテ 見セテ ク

ダサイ。」

「ヨロシイ。デハ、ヤリマスヨ。」

サア、犬 デス。

ワンワン。

コンドハキツネ。

コンコン。

コレハトビ。

クチバシヲゴラン。

「早クセンドウサンヲ見セテクダサイ。」

「ハイ、コレハセンドウサン。長イ竹ノサラデ、舟ヲ

コギマス。」

「コンドハ私ガヤツテミマセウ。」

「ボウ、ナニヲヤルカナ。」

「ヂヂサン、コレハナンデスカ。」

「ザア、ナンダラウ。手ノ上ニゴムマリヲノセテ

キルネ。」

「ザウデス。」

「ブウセンカナ。」

「イイエ、チガヒマス。」

「デハ、チキウダラウ。」

「イイエ、コレハ才月サママガ雲カラ出テ來ルトコ

ロデス。」

「十八日本のしるしに。」

朝日をうつした

日の丸のはた。

「日本のしるしに。」

はたがある。」

山がある。
すがたの りつぱな
ふじの 山。

日本の しるしに
うたが ある。
なつかしい うた
君が代の うた。

十九 花サカヂヂイ

ムカシムカシ、アルトコロニ、オデイサンガ アリマシ
タ。犬ヲ一ピキカツテ、タイソウ カハイガツテ キマシタ。
アル日、犬ガ **畠ノ**スミデ、

「ココホレ、ワンワン、
ココホレ、ワンワン。」

トナキマシタ。

オデイサンガソコヲ ホツテ ミマスト、**土ノ**中カラ、
オカネヤ タカラモノガ タクサン 出マシタ。

トナリノオデイサンハヨクノフカイ人 デシタ。コ
ノ話ヲ キイテ、犬ヲカリニ來マシタ。ムリニ犬ヲナカセ

テ、畠ヲホツテミマスト、キタナイ モノバカリ 出マシタ。
オデイサンハオコツテ 犬ヲコロシテ シマヒマシタ。
犬ヲ カハイガツテ キタ オデイサンハタイソウ カ
ナシミマシタ。犬ノ オハカラ ツクツテ、ソコヘ 小サナ
松ヲ 一本 ウエマシタ。

松ハズンズン 大キク ナリマシタ オデイサンハソ

ノ 松ノ 木デ、ウスヲ コシラヘマシタ。ソレデ **米ヲ** ツ
クト、オカネヤ タカラモノガ、タクサン 出マシタ。
トナリノ オヂイサンハ、マタ ソノ ウスヲ カリニ、
來マシタ。米ヲ ツイテ ミマスト、キタナイ モノバカ
リ 出マシタ。マタ オコツテ、ウスヲ コハシテ、火ニ ク
ベテ シマヒマシタ。

犬ヲ カハイガツテ キタ オヂイサンハ、ソノ 灰ヲ
モラツテ、來マシタスルト、風力 吹イテ、來テ 灰ヲ ト
バシマシタ。ゾレガ カレ木ノ 枝ニ カカツタカト 思フ
ト、一ドニ パツト 花ガ **咲キ**マシタ。
オヂイサンハ ヨロコビマシタ。灰ヲ ザルニ 入レテ、

花サカヂヂイ、花サカヂヂイ。カレ木ニ 花ヲ 咲カセマ
セウ。

ト イツテ、アルキマシタ。

トノサマガ **オ通リ**ニ ナツテ、

「コレハ オモシロイ。花ヲ 咲カセテ ゴラン。」

ト オツシャイマシタ。

オヂイサンハ 木ニ ノボツテ、灰ヲ マキマシタ。スルト、
カレ木ニ 花ガ 咲イテ 一ドニ 花ザカリニ ナリマシタ。

トノサマハ、

「コレハ フシギ ダ。キレイ ダ、キレイ ダ。」

ト オホメニ ナツテ、ゴハウビヲ タクサン クダサイ」

マシタ。

トナリノオデイサンハ、ノコツテ キタ 灰ヲ カキア
ツメテ、カレ木ニノボツテ、トノサマノオカヘリヲ マツ
テ キマシタ。ソコヘトノサマガ オ通リニ ナツテ、
「モウード、花ヲ 哉カセテ ゴラン」。

トオツシャイマシタ。

オデイサンハ、灰ヲ ツカンデ マキマシタ。イクラ
マイテモ、花ハ 哉キマセン。シマヒニ、灰ガ トノサマノ
目ヤ 口ニハイリマシタ。

トノサマハ、

「コレハ ニセモノ ダ。ワルイ ヤツ ダ」

ト オツシャイマシタ。

オデイサンハ、トウトウ シバラレテ、シマヒマシタ。

二十 ユメ

ユウベ、ネドコニ ハイツテカラ 考ヘマシタ。

私ニハ、オトウサンモ アリマス。オデイサンモ アリ
マス。ケレドモ、オデイサンノ オトウサンハ、オイデニ
ナリマセン。

今ハ、オイデニ ナラナイガ、前ニハ、オイデニ ナツタ
ニ チガヒ アリマセン。ソレハ、ドンナ オカタデ ア
ツタ デセウ。

コンナコトヲ考へテキルウチニ、イツノマニカネ
ムツテシマヒマシタ。

ユメニヒロイノハラヲ見マシタ。

花ガ一メンニ咲イテ、テフテフガトンデヰマシタ。
ソコヘ、一人ノオヂイサンガ出テ來マシタ。見ル
ト、私ノオヂイサンニヨクニタカタデシタ。

私ハ思ハズ

「オヂイサン。」

トイヒマスト、ソノカタハ
「ワタシハ、オマヘノオヂイサンノオトウサンダヨ。
トイツテ、ニコニコナサイマシタ。」

二十一 机とこしかけ

先生がこんなお話をなさいました。

みなさんにつかつてゐる机もこしかけも長い
間はたらいてゐます。

二年生もこれでべんきやうをしました。三年生も
これでべんきやうをしました。

四年の人も五年の人も六年の人もその前の
人もこれをつかひました。みなさんの生まれる
前からこの机もこしかけもあつたのです。

ここまでお話をきいたとき、ふと私はゆうべの

ゆめのことを思ひ出しました。

先生は、つづけておっしゃいました。

「こんど、みなさんが二年生になつたら、**新し**い一年生がはいつて来て、またつかひます。この机やこしがけを、かはいがつてやりませうね。」

二十二 ウグヒス

「勇サン、モウ**七時**、スギマシタ。早ク、オキナイト、學校ガ、オクレマスヨ。」

ト、ネエサンガ、イヒマシタ。

「ハイ。」

ト、勇サンハ、ヘンジヲ、シマシタガ、マタ、ネテ、シマヒ、マシタ。

「勇サン、勇サン、早ク、オキナイト、學校ガ、オクレマスヨ。」

ネエサンハ、前ヨリモ、大キナ、コエデ、イヒマシタ。

勇サンハ、スグ、オキヨウト、思ヒマシタ。ケレドモ、ネ

ムクテ、ネムクテ、タマリマセン。

ソノ**時、庭**ノ方デ、

「ボウホケキヨ。」

ト、ナクコエガ、シマシタ。

ネエサンハ、

アラ、ウグヒスヨ。」

ト イツテ、シヤウジノ ガラスカラ 外ヲ 見ナガラ
 「モウ 春 デス。勇サンモ、ヂキ 二年生デハ アリマセ
 ンカ。サア、早ク オキナサイヨ。」

トイヒマシタ。

勇サンハ トビオキマシタ。
 庭デハ マタウケヒスガ、

「ボウホケキヨ。」

ト ナキマシタ。

二十三 つくし

ぽかぽかと

あつたかい日に、
 つくしの ばうやは
 目が さめた。

つくし だれの 子、
 すぎなの 子。

つくしの ばうやは
 のぞいたら、
 外は そよそよ
 春の 風。

土手の 土

そつと あげて、

二十四 汽車

ゴー。

と、とほくの方で 音が しました。
 (汽車) だ。正ちゃん、見に 行かう。
 と、にいさんが ひひました。

ぼくたちは、畠の中のみちを走つてせんろの方へ行きました。

汽車はぐんぐん大きくなつてこつちへ来ます。
「くわもつ列車だ。長い長い。」

と、にいさんがいひました。

「シユツ、シユツ、シユツ、シユツ。」

と、きくわん車が大きな音をたてて來ました。

「いくつあるか、かぞえてみよう。」

と、にいさんはいひました。

くろいはこの車があとからあとからやつて來ます。

一、二、三、四、五、六、七、八

と、かぞへて十八まで來た時、牛のたくさんのがつてゐる車がいくつか通りました。「おや」と思つてある間に、ぼくは車のかずがわからなくなりました。

牛のあとから大きな木をつんだ車や石をつんだ車がいくつもいくつも通りました。おしまひごとになると、にいさんは大きなこゑを出してかぞへました。

「四十六、四十七、四十八。みんなで四十八あつた。」

と、ひました。

汽車はだんだん小さくなつてとほくの方へ行つて

しまひました。
ぼくは、さつき、見た牛のことを考へて、
ぼくも汽車にのりたいなあ。
と思ひました。

Approved by Ministry
of Education
(Date Se. 9, 1946)

昭和二十一年九月九日 翻刻印刷
昭和二十一年十月二十日 翻刻發行
昭和二十一年九月九日文部省検査済

ヨミカタ二 第一學年後期用

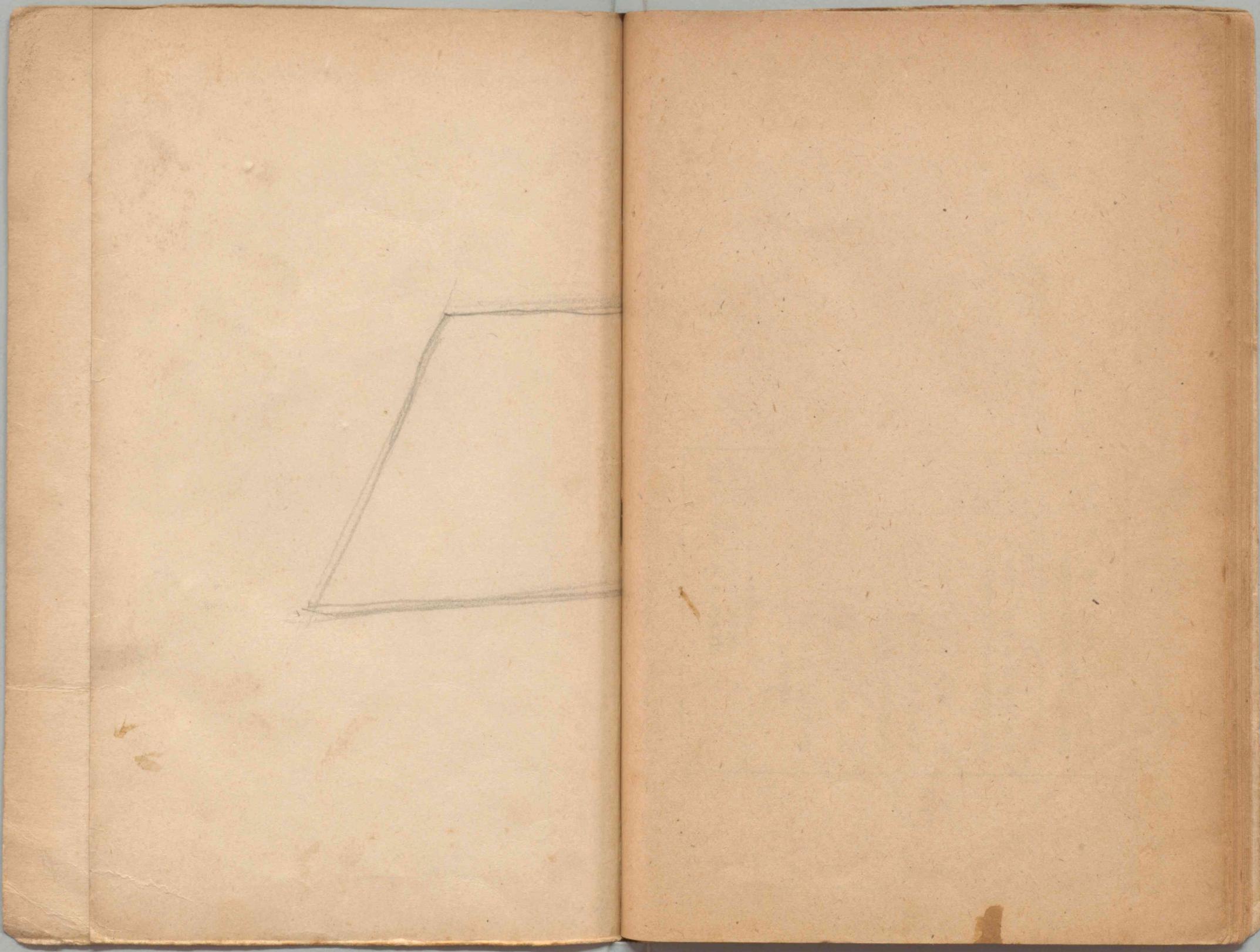
◎ 定價 金壹圓拾錢

著作権所有 著作者兼 文部省

東京都王子區堀船町一丁目八五七番地
翻刻發行 東京書籍株式會社

代表者 井上源之丞
東京都王子區堀船町一丁目八五七番地
印刷所 東京書籍株式會社

發行所 東京書籍株式會社
東京都王子區堀船町一丁目八五七番地



広島大学図書

01 0130449850

